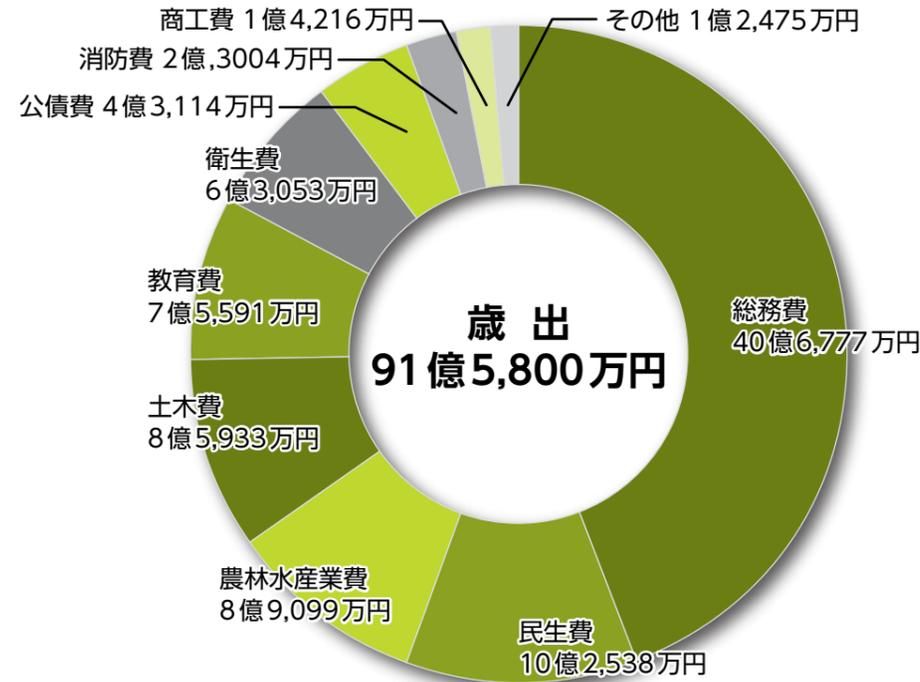


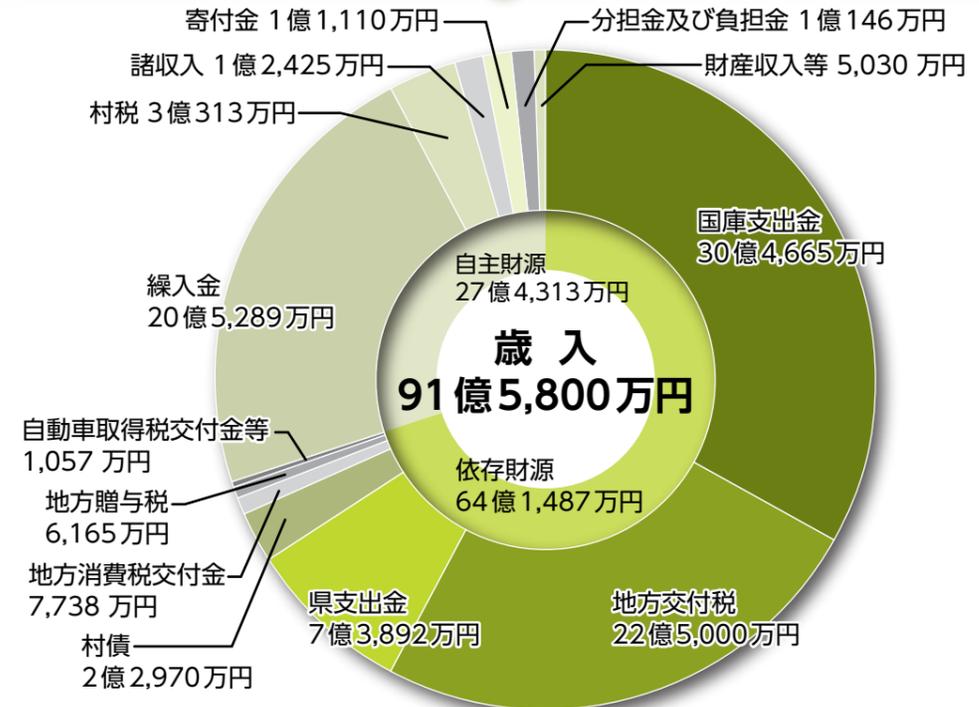
復興をより着実に、確実に。

当初予算 過去最大 91億5,800万円

村復興へ
復旧・復興事業費が約6割



さまざまな復興・帰村に
対応する事業を計上



平成28年度一般会計

歳出

平成28年度における
村の支出総額

歳出 歳出予算総額のうち、震災前にはなかった復旧・復興の対応にかかる事業費は、54億7000万円と歳出予算総額の約6割を占めています。村では、過去最大規模となった28年度予算を「着実な帰村を実現し、復興をより確かなものにする予算」として執行していきます。

予算配分については、村民一人ひとりの早期復興を優先する予算として、復興計画の5つの基本方針に沿って行っています。

主な事業については18～19ページをご覧ください。

国民健康保険特別会計	12億4,111万円
簡易水道事業特別会計	9,765万円
農業集落排水事業特別会計	3,965万円
介護保険特別会計（事業勘定）	10億4,866万円
介護保険特別会計（サービス勘定）	624万円
後期高齢者医療特別会計	6,380万円

平成28年度

特別会計

特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計とは分けて設けた会計です

平成28年度一般会計

歳入

平成28年度における
村の収入総額

歳入 27億4313万円の前年度に比べ10億7856万円の増額。財政調整基金に加え、復興拠点整備事業に関連する基金からの繰入金等が増額となりました。

依存財源 歳入の大半を占める地方交付税は、22億5000万円の前年度と同額ですが、普通交付税は、前年度に比べて1億円の減です。

また、村債は6億7970万円の減です。これは、主に公民館建替建設事業の減によるものです。

28年度当初予算

平成28年度当初予算は、平成28年第2回村議会定例会で3月17日に可決成立しました。一般会計予算は91億5800万円、前年度に比べ10億4200万円増、率にして12・8%の大幅な増となり、当初予算の規模としては過去最大です。

震災前の平成22年度当初予算総額41億4510万円と比較して、2倍を超えています。

予算規模過去最高額更新

平成28年度は震災から6年、「帰村」に向けたこれまで以上に重要な1年になります。この大切な1年に生活環境のインフラ整備、復興拠点整備等、村民が復興を実感できるように予算編成を行いました。

（金額は端数処理をし、万円単位にしています。）